

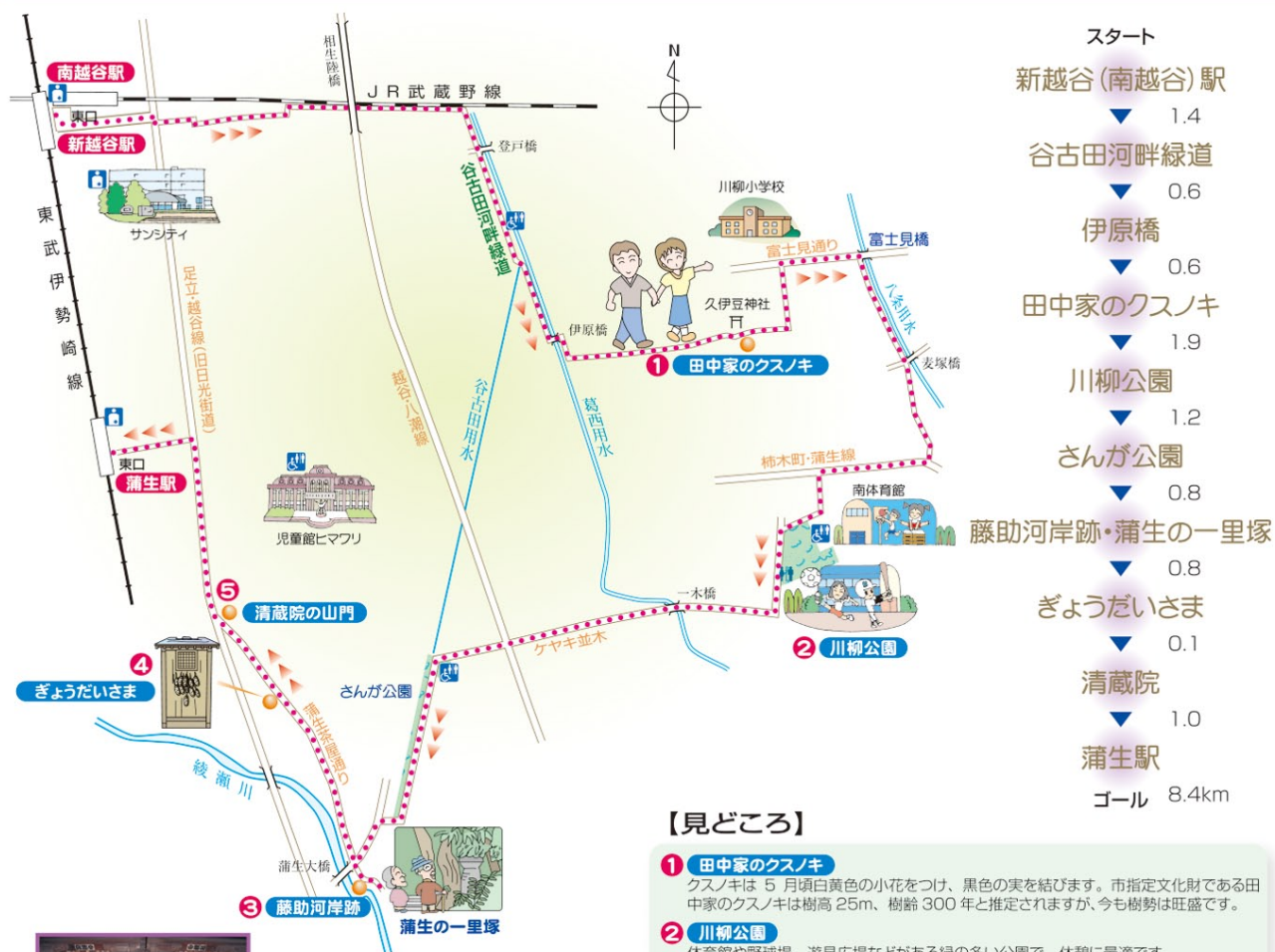


# 6コース

新越谷(南越谷)駅～蒲生駅

☆河畔緑道を散策しながら、昔を覗いて見ませんか。

新越谷(南越谷)駅前ロータリーを東に向かって出発。旧日光街道(足立越谷線)を横断し、武蔵野線沿いを歩き**谷古田河畔緑道**へ進みます。釣り人、遊具で遊ぶ子ども達、豊富な木々を満喫し、伊原橋を渡ります。しばらく行くと右手に大きな**クスノキ**、左手には久伊豆神社が見えてきます。富士見通りを進み、富士見橋(振り返ると富士山が見えるかも?)の手前を右折、桜並木がきれいな八条用水沿いを歩きます。麦塚橋を斜めに入り、女体神社を右折し**川柳公園**へ。ここで一息!公園を後にし、一木橋を渡りケヤキ並木を進みます。桜が見事なさんが公園を通り抜け綾瀬川に向かうと、江戸の時代が偲ばれる**蒲生の一里塚**、さらに下流には**藤助河岸跡**があります。ここでUターン、蒲生茶屋通りを進み**清蔵院**に向かいます。ここで散策!旧日光街道に出て、少し北上したらよいよゴールの蒲生駅です。



## 【見どころ】

- 田中家のクスノキ**  
クスノキは5月頃白黄色の小花をつけ、黒色の実を結びます。市指定文化財である田中家のクスノキは樹高25m、樹齡300年と推定されますが、今も樹勢は旺盛です。
- 川柳公園**  
体育館や野球場、遊具広場などがある緑の多い公園で、休憩に最適です。
- 藤助河岸跡**  
水路の発達した越谷では船を利用して荷物の積み下ろしをする「河岸場」がたくさんありました。陸路による運送の発達とともに姿を消し、「藤助河岸」が当時の面影を残しています。
- ぎょうだいさま**  
ほこらの中に鳥かごのような異様な形をした石塔が立っています。「交通の神様」足の神様として崇拝されていたといわれ、今もわらじが供えられています。
- 清蔵院の山門**  
この山門は、屋根などが部分的に改修されていますが、その棟札により寛永15年(1638年)関西の工匠による建立であることが確認されています。欄間に掲げられている龍の彫刻など、江戸初期の素朴な彫刻様式を今に伝えます。なお、山門の龍は左甚五郎の作といわれ、龍が夜な夜な山門を抜け出して田畑を荒らしていたためこれを金網で囲ったといわれています。



5 清蔵院の山門



3 藤助河岸跡